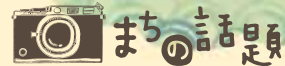


令和3年度 成人式

1.9
sun



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2部制で行われ、計567人の新成人が参加しました。

第1部では、実行委員長の小島ゆいさんが「進む道は違えども、小郡をふるさととする者同士、支え合いながら大人として責任感を持って生きていきたい」、第2部では、副実行委員長の山口裕也さんが「今まで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、成人としての自覚を胸に人生を歩んでいきたい」とそれぞれあいさつしました。

※撮影時に、マスクを外しています

新成人代表のあいさつ



準備に携わった実行委員の皆さん

フотスポット「平田家住宅」で撮影



声を出さなくて済むように案内板を使用



席の間隔を空け、人との距離を確保



恩師や友人との会話に花が咲きます

出席者全員に検温を実施



倒れていた男性を救出 3人に感謝状贈呈

12.23
thu

力武の用水路に転落した70代の男性を救助したとして、救助活動に協力した3人に、三井消防署から感謝状が贈られました。

家の近所の用水路に男性が転落しているのを発見した福田光枝さん(写真中央)と福田幸文さん(写真右)はすぐに119番通報。近くで作業をしていた山下久幸(写真左)さんと福田幸文さんが協力して引き上げ、救急車に引き継ぎました。

福田光枝さんは「発見が遅かったら助からなかったかもしれない。男性が無事に回復してよかった」と話しました。



「税に関する作文」 表彰式

12.8
wed

税への理解を深めてもらおうと、毎年、中学生・高校生による作文コンテストが行われています。今年度は、3人が受賞しました。

- 宮園真緒さん(小郡中学校1年・写真右)「入院の経験をして初めて税のありがたさが分かった」
- 古賀みず希さん(小郡高校1年・写真中央)「税のことを友達に教えることで、今回の学びを学校生活でも生かしていきたい」
- 田中美帆さん(小郡中学校3年・写真左)「税は自分たちの身近になくってはならないものだ」と学べた」



市内3か所で 左義長を開催

1.8
sat

1.16
sun

御原校区・立石校区・のぞみが丘校区で、地域の伝統行事である左義長(さぎっちょ)が開催されました。

左義長とは、竹で組んだやぐらの中でしめ縄飾りや書初めに火をつけ、無病息災や家内安全などを祈るものです。地域によっては「どんど焼き」とも呼ばれます。

昨年は感染症や大雪の影響で実施できませんでしたが、今年は人数制限などを行いながら、「感染症に打ち勝つ」という願いも込め、冬空に昇る炎に祈りを捧げました。



ラグビー染山選手が 小郡高校に!

12.15
wed

日野レッドドルフィンズ所属の染山茂範選手が、地元小学生を交えた小郡高校ラグビー部の練習指導に来てくれました。

小郡市出身の染山選手は、高校からラグビーを始め、高校では全国大会に3年連続出場し、日本代表に選ばれるなど素晴らしい成績を残しています。

染山選手は「地元にある小郡高校ラグビー部の部員が少ないため他校との合同チームになっているのを知っていた。どうにか地元に貢献したい、ラグビー部を盛り上げたいという思いが強くあった」と熱く語りました。部員は「気が入った。今後は単独チームになり、大会で活躍したい」と話しました。

